

J E C A F A I R 2026

第65回製品コンクール

東京都千代田区のグランドアーク半蔵門で8日、日本電設工業協会（JECA）主催の「JECA FAIR 2026 第65回製品コンクール表彰式」が開催された。同コンクールはJECA FAIR2026に出展された製品の中から優れた製品・技術を選定し、表彰するもの。受賞製品は12件。1960年に始まり、今年で65回目を迎えた。

製品コンクールは情報通信技術（ICT）の活用による生産性向上や脱炭素社会の実現、災害対応力の強化など、現代社会の課題解決につながる技術革新を奨励している。審査委員会が技術力や社会貢献度、着想、将来性、市場性などの観点から審査し、受賞製品を選定した。今回は製品コンクールに52社が応募し、12社が受賞した。

受賞製品は経済産業大臣賞を受賞した日東工業の「電気設備保全システムCABIoT IOT-3

未来へつながる電設技術

東京都立産業技術研究センター理事長賞を受賞した「ANDPAD図面性能検査機能」など、受賞12製品が会場に展示



29日までの3日間、東京ビッグサイトで開催されたJECA FAIR2026には約267社が出展。過去最大規模で開催され、教育機関への交通費助成を通じて約2300人の学生を招くなど、次世代人材の

01」、環境大臣賞を受賞した関電工の「エネルギーマネジメントシステム WATTMILE」、中小企業庁長官賞を受賞した力電の「受電VCB内蔵変圧器励磁突入電流抑制装置EQ-RIP」、東京都立産業技術研究センター理事長賞を受賞したアンドパッドの「ANDPAD図面 性能検査機能」などとなっている。5月27日から開催を予定している。

今後の方針についてJECAの文挾誠一会長は「省力化や効率化、安全性の向上に資する先進技術を可視化し、業界全体の働き方改革を推進する原動力となっている。我々は、こうした革新的な取り組みが業界をリードしていくと確信している」と語った。

次回のJECA FAIRは27年5月26日から28日までの3日間、大阪市住之江区のインテックス大阪で開催を予定している。



表彰式に出席した受賞企業の代表者ら

受賞製品

アンドパッド

ANDPAD図面 性能検査機能

「ANDPAD」は現場の効率化から経営改善までを一元管理できる、クラウド型建設プロジェクト管理サービス。8年連続シェアナンバーワン（デロイト トーマツミミック経済研究所調べ）を誇る。

新機能「ANDPAD図面性能検査」はAI技術を活用し、絶縁抵抗試験などの検査業務の手間を削減する。測定記録支援システムの「BLUE（開発「関電工」）とも連携し、絶縁抵抗試験、照度測定、コンセント検査など、対応数の多い事前準備から測定・帳票出力までを一元管理。煩雑な検査業務の効率化とともに、品質不良や手戻りコスト防止に寄与する。

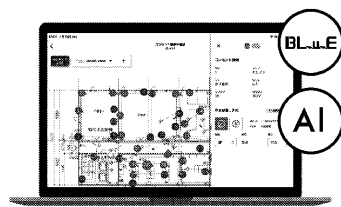


電気工事の検査、丸ごと一変。

ANDPAD

ANDPAD 図面 性能検査

☑ AIによる測定準備を自動化 ☑ 測定検査業務の効率化 ☑ データのトレーサビリティ



株式会社アンドパッド ご質問・ご相談は、お電話またはメールにてご連絡ください。

☎ 03-6831-4551 ✉ info@andpad.jp 営業時間 平日 10:00-19:00

※「建設業マネジメントクラウドサービス市場の動向とベンダシェア（ミックITリポート2025年12月号）」（デロイト トーマツ ミミック経済研究所調べ）

導入企業数
8年連続
シェア
No.1
利用社数
26万社
ユーザー
69万人